



日本共産党 北区議会議員

No.55 2024.2月号

# せいの恵子区政レポート

日本共産党北区議員団

〒114-8508

王子本町 1-15-22

<http://keiko-seino.com>  [mail@keiko-seino.com](mailto:mail@keiko-seino.com)

ご相談は  
お気軽に

070-3531-0812

## 価格高騰 追加支給へ 支援給付金



### 住民税均等割のみ課税世帯へ7万円 低所得の子育て世帯へ児童1人5万円

国は、物価高騰の影響で特に負担感の大きい低所得世帯や子育て世帯を対象に、給付金を支給する方針を決定しています。これを受け、北区でも価格高騰支援給付金の追加支給の準備が進められています。

のことも加算として児童1人につき5万円の給付を行うもので、2月5日に開かれる第1回臨時本会議に補正予算として提案されます。給付開始は、均等割のみ課税世帯が2月下旬

北区では、昨年の第4回定例会で、住民税非課税世帯を対象とする世帯あたり7万円の「エネルギー・食料品等価格高騰支援給付金」の支給を決定、年末から今年にかけて給付が始まっています。今回の追加支給は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、①住民税均等割のみ課税世帯に世帯あたり7万円、②非課税世帯及び均等割のみ課税世帯へ

#### エネルギー・食料品等価格高騰支援給付金

##### 1. 住民税均等割のみ課税世帯に対する給付金事業

▼対象世帯：4000世帯

▼給付額：1世帯につき7万円。ただし転入等で今年度中に3万円を受給していない世帯については、1世帯につき10万円を給付

▼支給開始時期：2024年2月下旬予定

##### 2. 非課税世帯及び均等割のみ課税世帯への子ども加算

▼対象世帯：18歳以下の児童を扶養している2600世帯（3900人）

▼給付額：児童1人につき5万円

▼支給開始時期：2024年3月下旬予定

#### 4月以降に調整 給付の支給検討

国は、今年6月から納税者1人あたり4万円の定額減税を実施する予定ですが、北区は、納付する所得税および住民税の合計額が減税額である4万円を下回る場合、

1万円単位で切り上げて算定した額を調整給付として支給する予定です。この調整給付については、2024年度住民税課税情報等が必要なことから、新年度に入ってから予算措置が講じられることとなります。引き続き家計や経営に深刻な影響を及ぼしている物価高騰。さらなる支援策を求めていきます。

# 全額を被災地へ

最大震度7の激震に見舞われ、多くの犠牲者・被災者を出している能登半島地震。日本共産党は、元日の発災直後から全国の街頭・駅頭に立ち、災害救援募金に取り組んできました。

せいの恵子事務所でも、事務所前に募金箱を設置。王子駅親水公園口、板橋駅東口、西巣鴨駅での早朝駅頭宣伝や西巣鴨交差点などで募金の協力を訴え10万円を超える募金がみなさんから寄せられました。

日本共産党全体としては、22日正午時点で1億162万円の募金が寄せられました。すでに1月15日に第1次分として6800万円を被災地に届け、残りの全額を第2次分として被災地にお届けします。今後も引き続き、被災者の生活と生業の再建、街の復興に向けた支援に全力をあげていきます。



1月18日 西巣鴨交差点での募金活動

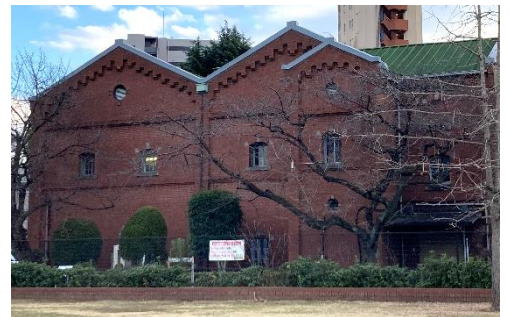
## 赤煉瓦酒造工場プレミアムツアー

1月26日、重要文化財に指定されている滝野川にある「赤煉瓦酒造工場」のプレミアムガイドツアー(東京北区観光協会主催)に参加しました。

この場所は通常未公開ですが、120年にわたり酒の製造に関する技術開発や講習が行われてきた日本で唯一の場所です。

今回は工場内をガイドツアーでまわり、杜氏や利き酒師によるお酒ができる過程の解説などを伺いながら、日本酒(純米吟醸原酒飛栄、甘酒、どぶろく、梅酒)を試飲させて頂きました。

赤煉瓦酒造工場の歴史に感動し、日本の発酵文化を大切にしていきたいと改めて思うひと時となりました。



## 餅つき大会



1月28日、地元の馬場自治会で餅つき大会が行われお手伝いをしました。

今年は初めて「返し」の担当となり、つき手と呼吸をあわせお餅を返すのに必死。子ども達や若者世代など多くの皆さんが餅つきを楽しんでいました。

つくたてのお餅はやわらかくてとても美味しいと大好評でした。



駅頭宣伝カレンダー

雨天中止

朝 7:30-8:15

2/2(金) 板橋駅 (東口)

2/9(金) 西巣鴨駅 (セゾンビル側)

2/16(金) 王子駅 (親水公園口)

2/23(金) 休み